

奈良佐保短期大

# 一緒に遊んで笑顔

## 児童らとクリスマス会

奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学(池内ますみ学長)で2日、県里親会(松舟憲光会長)との共催でクリスマス会が開かれた。県里親会の親子ら約60人が参加。保育士や幼稚園教諭などを目指す学生と一緒に、クリスマス気分を味わい楽しんだ。

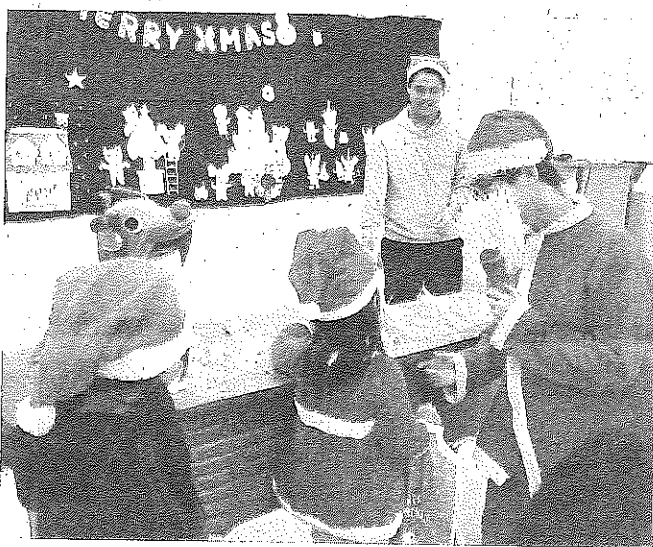
同大が里親子同士の交流の場を目的に約10年前から実施。学生向けには里親子を支援する仕組みや活動を知り、保育士の資質を高めることが狙いという。

同大地域こども学科の学生で支援ゼミ(松本充史講師)の学生を中心に、同学科音楽表現ゼミの学生も加わり、幼児から大人までが一緒に楽しめるプログラムを企画し運営。ゲームに続いて、子どもたちはタンブリンやカステネットなどの楽器を手に、「おもちゃのチャチャチャ」「シングルベル」を演奏した。

ドを盛り上げた。

また、学生らがハンドベル演奏を披露し、サンタクロースとドナカイに扮するなどして、クリスマスムードを盛り上げた。司会などを務めた同学科2年の浜野萌さんは「クリスマスに合う遊びを考えたら、不安もあったけれど、子どもたちが楽しんでくれたようで、うれしかった」と話した。

写真をもっと  
奈良新聞デジタル



キャラクターを描いた手作りキーホルダーをプレゼントするサンタクロースに扮した学生  
=2日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大